

平成 28 年 2 月 5 日

研究公開用文書

研究名： 根治切除を施行した腎細胞癌の再発形式の検討
研究の概要： 腎癌の標準的な治療法は外科的切除です。しかし、手術を受けられた患者さんの中には術後に再発・転移を生じる方もおられるのが現状です。そのため、手術後も定期的に画像検査・血液検査などを行い再発・転移の確認を続けていくことが必要です。しかし、手術を受けられた方がその後どのような経過をたどるのかその詳細は明らかにされていません。 そこで今回私たちは神奈川県下の複数の病院において外科的切除をされた腎癌患者さんを対象に、手術記録、カルテといった診療情報をもとにどのような方がいつ、どのように再発・転移を生じるのか、その再発形式を検討したいと考えています。 本研究の解析によって、腎癌患者さんの再発形式が明らかになれば、それぞれの患者さんにとっての適切な術後経過観察法が確立できるのではと考えています。
研究対象： 1972 年-2015 年の間に、当院で腎癌に対して根治的切除術を施行された患者さんを対象としております。 全ての個人情報情報は匿名化された上で使用されますので、プライバシーは厳重に保護されますが、本研究に参加されたくない患者さんはお手数ですが下記連絡先までご連絡ください。
研究責任者： 横浜市立大学医学部 所属： 泌尿器科 准教授 氏名： 中井川 昇
研究実施期間： 平成 28 年 3 月 1 日 ～ 平成 33 年 2 月 28 日
連絡先： 横浜市立大学医学部 所属： 泌尿器科 准教授 氏名： 中井川 昇 〒：236-0004 住所：横浜市金沢区福浦 3-9 電話：045-787-2679